

経営比較分析表（令和3年度決算）

石川県 内灘町

業務名	業種・事業名	管理者の情報	自己資本構成比率 (%)
法非適用	電気事業	非設置	該当数値なし
水力発電所数	ごみ発電所数	風力発電所数	太陽光発電所数
-	-	1	-
その他発電所数	料金契約終了年月日	FIT適用終了年月日	電力小売事業実施の有無
-	令和6年3月31日 内灘町風力発電所	令和6年3月31日 内灘町風力発電所	無
売電先	地産地消の見える化率 (%) ※1		
北陸電力株式会社	-		

※1 行政区域内の需要家に小売されたことが客観的に明らかであるものを計上。なお、この基本情報をもって全ての地産地消エネルギーへの取り組みを評価するものではない。

年間発電電力量 (MWh)	H29	H30	R01	R02	R03
水力発電	-	-	-	-	-
ごみ発電	-	-	-	-	-
風力発電	615	-	-	-	-
太陽光発電	-	-	-	-	-
合計	615	-	-	-	-

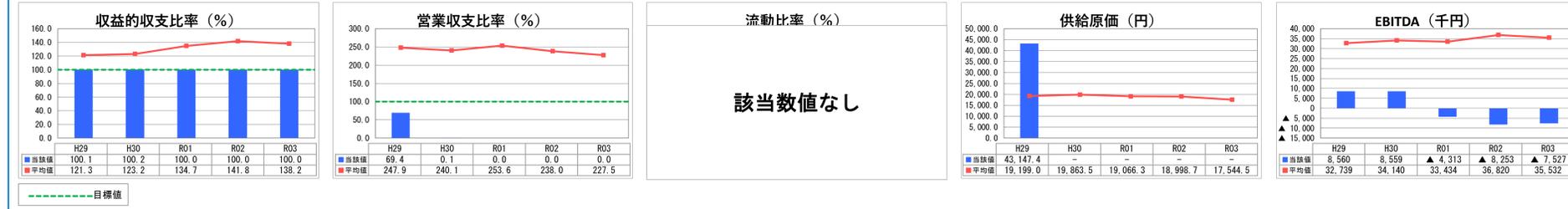
年間電灯電力量収入 (千円)	FIT以外	FIT	合計
-	-	-	-

剰余金の用途について (具体的な使用実績事業を記入してください)
剰余金無し

分析欄

1. 経営の状況について
機器の故障により施設が休止しているため、設備利用率・営業収支比率は0%となった。今後は、事業の継続・廃止を検討し、経営改善に向けて早期に対応が必要な状態である。またその間、可能な範囲で維持管理費等の費用の削減に努めることも必要である。

1. 経営の状況

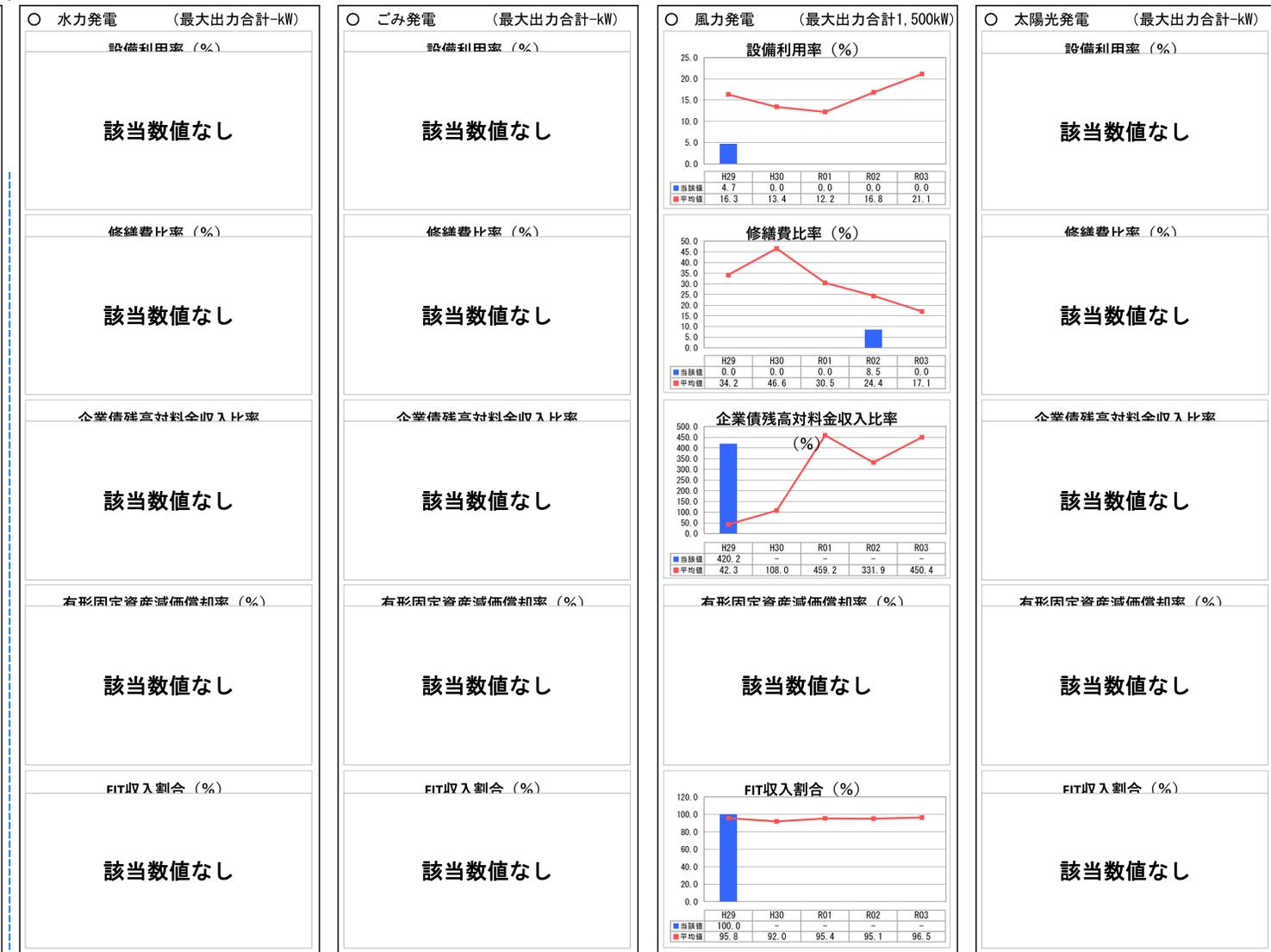


2. 経営のリスク

●施設全体



●発電型式別



2. 経営のリスクについて

令和2年度と同様、設備故障により売電収入が得られなかった。FITの調達期限も迫っており、再稼働させた場合の経営状況も念頭において、経営改善の方策を検討していきたい。

全体総括

設備の停止による収入の低下が、経営状況に大きな影響を与えている状況であるため、早期に経営を改善する必要がある。そのためには、事業性を改めて検討し、更新・廃止の方向性を決定することが重要である。またその間は経常経費を削減するなどして、経営の安定化を図りたい。

※平成29年度から令和3年度における各指標の全国平均値は、当時の団体数を基に算出していますが、設備利用率及び修繕費比率、企業債残高対料金収入比率、FIT収入割合については、令和3年度の団体数を基に平均値を算出しています。